



蓬原の子

目標とことん一つ

校長 徳田 賢一

「偉大な人々は目標を持ち、そうでない人々は願望を持つ」これは、フランスの生化学者であり狂犬病ワクチンを発見した有名な医師のルイ・パスツールの言葉です。

12月13日(土)に行われた4年生の二分の一人式で、一人一人が将来の夢について発表してくれました。変化の激しい、先行き不透明な時代を生き抜く子供たちにとって、しっかりとした学力を身につけさせ、子供たちが、自ら目標を設定し、その達成に向けて努力し続ける人に成長してほしいという思いで、日々の教育活動を進めています。

また、子供たちは、各学期始めに自分で掲げた目標に対して真剣に取り組んでいます。目標達成が明確になるように発達段階に応じて具体的な数字を入れるといいですね。具体的な数値目標を掲げさせることによって目標が明確になり、取り組む意欲も向上するという利点があります。自ら掲げた目標が、「こうなったらいいな。」「できたらいいな。」程度の願望であれば、ルイ・パスツールの言葉を借りると、いつまで経っても目標を達成することは難しいでしょう。

そこで、目標を達成するために、親や教師は、子供たちが掲げた目標に対して、相談に乗ったりアドバイスをしたりすることが大切です。具体的には、目標達成のために、「いつ」「何をどのようにすればいいのか」子供自身が考え、決定し、自ら行動に移せることが大切でしょう。そして、保護者は、子供たちが自分で決め、自分で行動できたことを認め、励まし褒めてあげることで子供たちは、さらに自信を持つことでしょう。

さあ、いよいよ冬休みです。新しい年をより豊かで実り多いものにするために、やりたいこともたくさんあるでしょうが、まずは、何か一つ、新年の「目標」を立て、とことん取り組んでみましょう。



12月13日に「二分の一人式」が開催されました。今年10歳になる4年生が主役です。当日は、「将来の夢」の発表やお家の方への「ありがとうの手紙」、家族からのお祝いのことばや三年生からもメッセージをいただきました。

最後に、蓬原みんなの協議会の方からお祝いの品をいただきました。あと10年後に行われる「はたちの集い」の際に、今の夢に近づいていることを期待したいです。



校内人権旬間



11月24日～12月5日の期間は「校内人権旬間」ということで、人権に関する様々な学習を行いました。

2日は、人権擁護委員の方をお迎えして、「人権教室」を開催しました。最初に人権に関するDVDを鑑賞し、その感想を書きました。その後、人権擁護委員の方より人権に関するお話をいただきました。

人権教室で学んでことを生かして「人権標語」を作りました。友達や家族との関係や地域・社会のことを、五・七・五の枠に当てはめて作品を作り上げていました。その後、給食時間の校内放送で、「人権標語」を紹介し、お互いの作品のよさを味わいました。

3学期は、今回作った「人権標語」を活用して、「人権カレンダー」を作成する予定です。できあがったら、学校便りで紹介します。お楽しみに。



【人権標語】

- 1年 つめたいことば かなしくなるよ やめようね
上村 玲那さん
- 2年 自分がさべつされることがいやだからやさしくする
池田 篤人さん
- 3年 にこにここと みんなであそぶ たのしいな
野下 千笑理さん
- 4年 いじめはNO なかよくしよう みんなでね
福山 彩莉さん
- 5年 じんけんは 命と心を 守るため
安田 京介さん
- 6年 人権を 守ってみんな よい心
畑山 蓮人さん

ハンセン病問題の発表会

5, 6年生が学習した「ハンセン病問題」を、授業参観で発表しました。星塚敬愛園の上野正子様よりいただいた手紙に書かれていた子供たち

へのメッセージも紹介され、人権の大切さをあらためて感じることができました。

【上野様からいただいたメッセージ】

差別偏見のない社会になることを願っております。皆さん、元気でがんばってください。



志布志市老連有明支部様より、今年もたくさんのタオルをいただきました。ありがとうございました。大事にかつ有効に活用させていただきます。老人クラブの皆様方も良い年をお迎えください。

